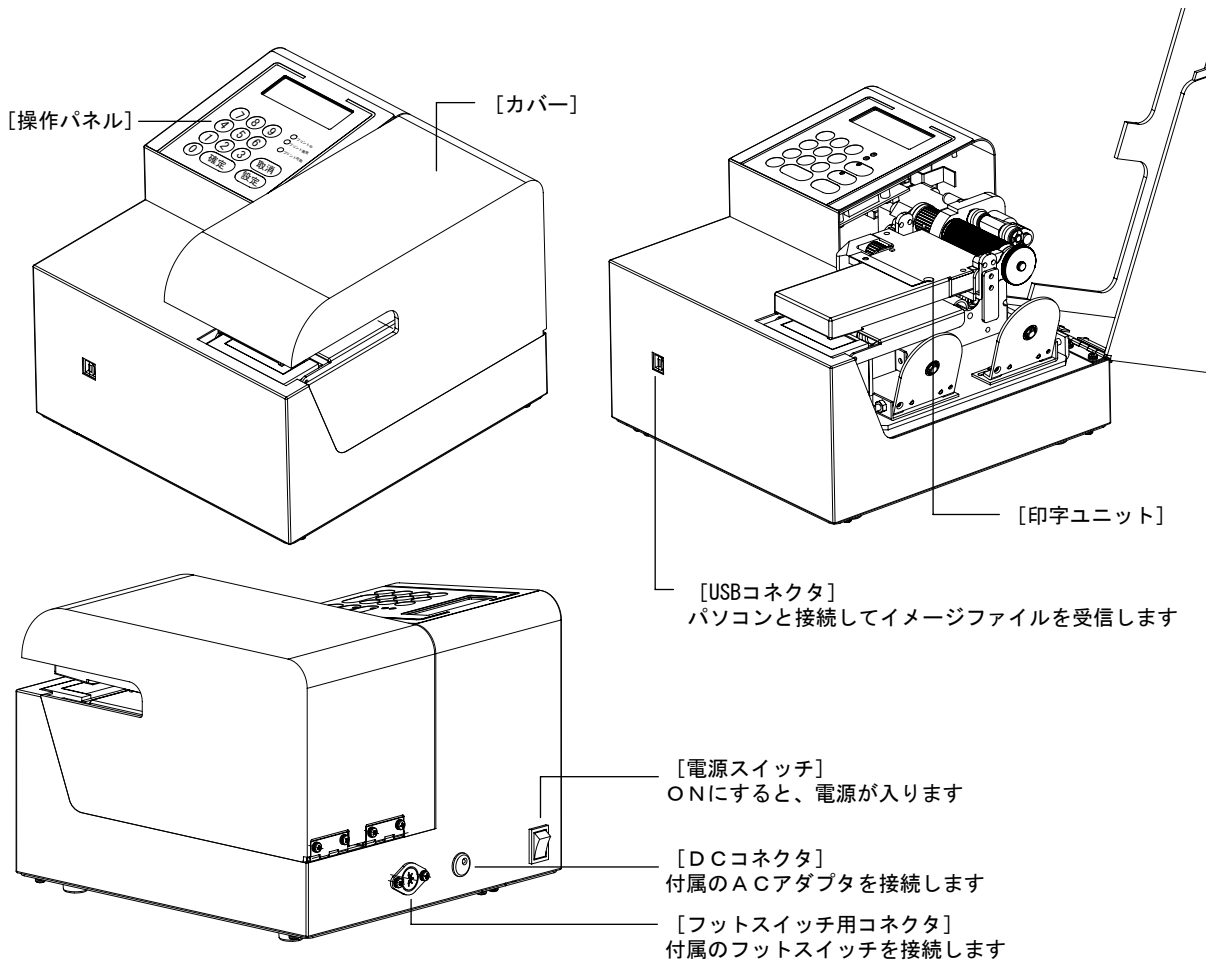
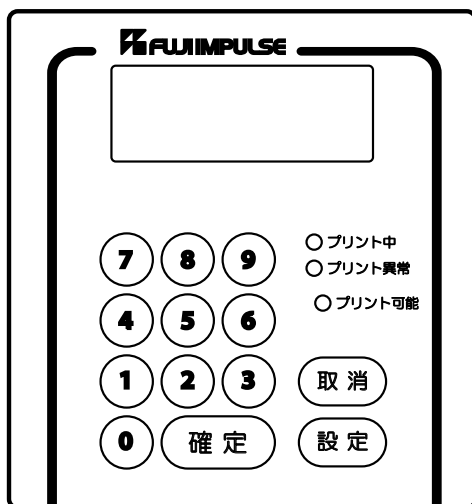


5 各部の名称とはたらき

5-1 本体ユニット



5-2. 操作パネル



操作パネル

表示部: 設定内容や、入力した数値を表示します。

数字キー: 設定する値を入力するのに使用します。

設定キー: 設定する項目を表示します。

確定キー: 入力した値を確定します。

取消キー: 入力した値を無効にして、印字可能状態に戻ります。

LED 表示

プリント中: 印字中に点灯します。

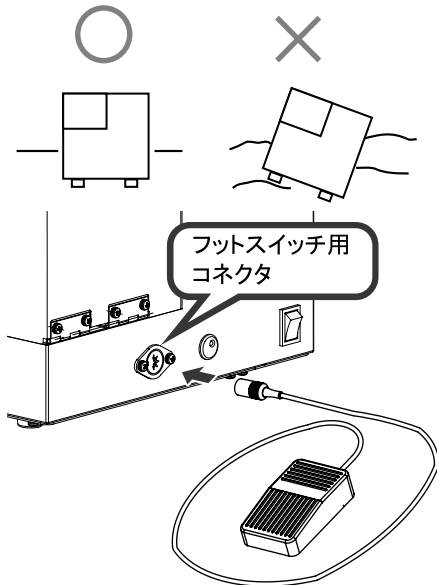
プリント異常: プリントテープ切れ等、プリントできないとき点灯します。

プリント可能: プリントできる状態のとき、点灯します。

6 正しい使い方（本体ユニットの設置から印字まで）

本機を使用する時は以下の『正しい使い方』に従ってください。

以下の方法以外の操作方法で使用されますと故障の原因となりたいへん危険です。



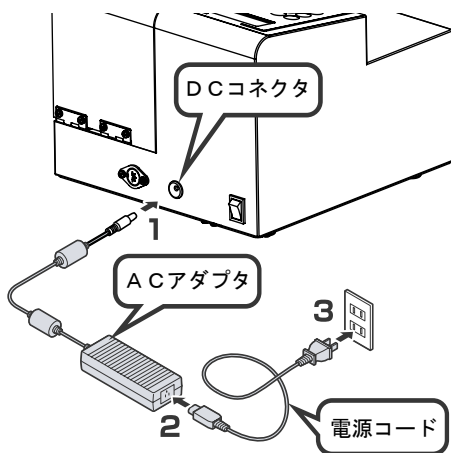
5-1 本体ユニットの設置

本体ユニットを水平な面を持つ適切な作業台の上に設置してください。

注意 水平ではない作業台に不安定な状態で設置するとプリンターが落下する危険性があります。

5-2 フットスイッチの接続

付属のフットスイッチのフラグを、本体後部の、フットスイッチ用コネクタに差し込みます。



5-3 ACアダプタを接続する

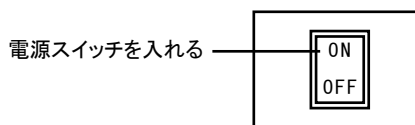
1.ACアダプタを DC コネクタに接続します。

2. 電源コードを AC アダプタに接続します。

3. 電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。

警告 DC コネクタには、付属の AC アダプタ以外のアダプタを接続しないでください。規定の容量に合わない場合、火災などの危険性があります。

* 付属の電源コードは、AC100V 国内用です。



5-4 本体ユニット後部の電源スイッチを入れます。

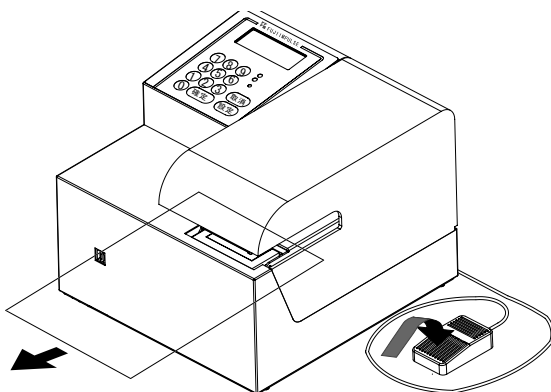
操作パネル表示部が点灯し、印字可能ランプが点灯します。

5-5 包材を入れてフットスイッチを押すと印字が開始されます。

* 印字位置は、8 ページ 7-3 印字範囲と印字位置を参照してください。

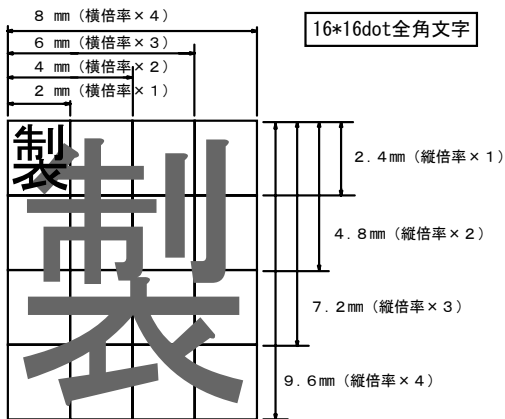
5-6 印字後は、包材を手前に引き出してください。

左右に引き出すと、プリントテープが印字ヘッドからずれて、以降の印字が正常におこなわれない場合があります。



7 印字する文字について

7-1 印字できる文字の種類と大きさ



1) 16 × 16ドット全角文字 (漢字、英数字、カナ)

・文字の大きさ

縦 1 倍 * 横 1 倍の場合 (2.4mm * 2.0mm)

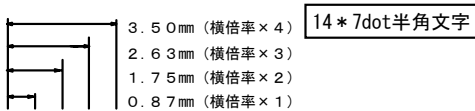
縦 4 倍 * 横 4 倍の場合 (9.6mm * 8.0mm)

・1 列に印字できる最大文字数

「横倍率」× 1(20 文字) × 2(10 文字) × 3(6 文字) × 4(5 文字)

・印字できる最大列数

「縦倍率」× 1(6 列) × 2(3 列) × 3(2 列) × 4(1 列)



2) 7 × 14ドット半角文字 (英数字、カナ、記号)

・文字の大きさ

縦 1 倍 * 横 1 倍の場合 (2.1mm * 0.875mm)

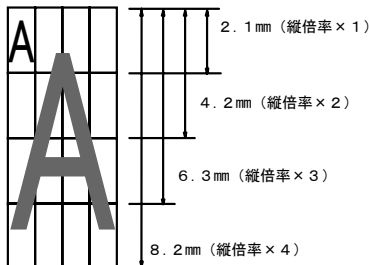
縦 4 倍 * 横 4 倍の場合 (8.4mm * 3.5mm)

・1 列に印字できる最大文字数

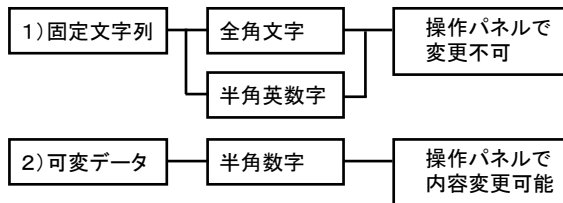
「横倍率」× 1(40 文字) × 2(20 文字) × 3(13 文字) × 4(10 文字)

・印字できる最大列数

「縦倍率」× 1(6 列) × 2(3 列) × 3(2 列) × 4(1 列)



7-2 可変データについて



THP-4012 で印字できる文字には、イメージファイルに記述した文字をそのまま印字する固定文字列印字と、イメージファイルに記述した数値や設定値を操作パネル上から、変更できる機能を持つ形式で記述された、数値データがあります。

後者を「可変データ」と呼び以下の種類があります。

* 可変データの変更手順は、12 ページ以降に記述されています。

1) 可変数字

操作パネルの数字キーにて、印字する数字を変更できる機能をもつ文字列。

2) ナンバリング機能

印字指定回数の印字ごとに、印字する数字を + 1 ずつカウントアップする機能を持つ数字列。

3) 現在時刻表示

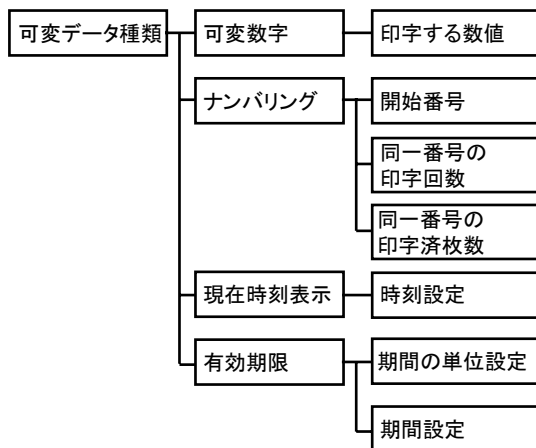
現在の年月日、時刻を印字できる機能。

4) 有効期限

現在の年月日や時刻から、指定した年月日時後の年月日等を印字できる機能。

* 印字できる文字種は半角数字のみになります。

* 操作パネル上から、印字桁数の変更はできません。



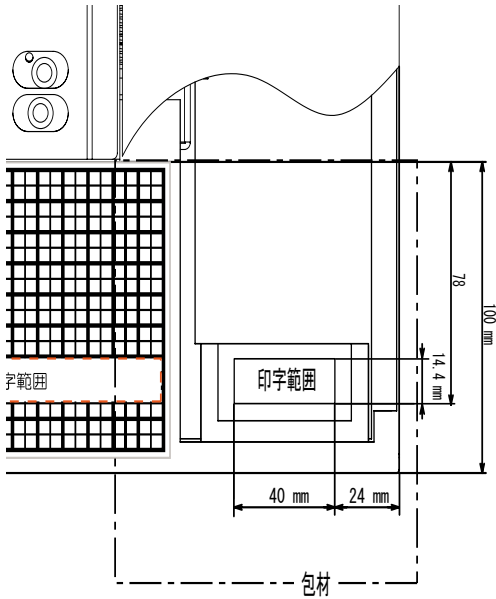
(印字例1)

価格 ¥12,345
有効期限

(印字例2)

LOT No. 123456789
製造年月日 2009. 06. 09
消費期限 2010. 06. 09
現在時刻
有効期限
固定文字

7-3 印字範囲と印字位置



- 1) THP-4012 の印字範囲は、
縦 14.4 mm、横 40 mmになります。
- 2) 包材の印字可能位置の最大は、
包材の先端から約 78 mmになります。
- 3) 包材の先端から THP-4012 の正面（手前の端）までの距離は、
約 100 mmになります。
- 4) 左右の印字位置は、THP-4012 右側面から、
約 24 mm～ 64 mmの間になります。

* 上記の位置は、印字ユニットの取り付け位置により若干変化します。
実機で、印字位置を確認して御使用いただくようお願いいたします。

8 印字してみよう(登録印字データより印字 No を選択して印字)

STEP1

登録イメージ表から印字するイメージを選択

STEP2

選択したイメージNoを操作パネルから入力

STEP3

フットスイッチを押して作業開始

この章では、工場出荷状態で、予め THP-4012 に登録されている印字データ(巻末の登録印字データ)の中から、印字したい内容(印字 No 02)を選択して、印字するまでの手順について説明しています。

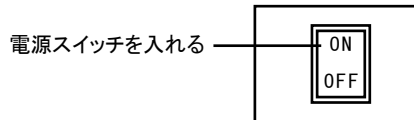
* 印字 No 「02」の印字内容

「製造年月日 2009:05:01」

「消費期限 2010:05:01」

* 1 行目には、現在の日付

* 2 行目には、期限設定(1 年後)した日付が自動的に印字されます。



初期画面表示

THP- 4012 12:34:56
[01]セイウ, ショウミ-1
[フットスイッチ] インジ
[セッテイ] ショリメニュー

[現在の時刻を表示]

現在の選択されている
イメージNoと見出しを表示

8-1 電源スイッチ ON(初期画面表示)

本体後部の電源スイッチを入れます。

工場出荷状態で電源を入れると、操作パネルの表示部が点灯して、社名表示後、初期画面を表示します。

表示内容は「現在の時刻」

「現在選択している印字 No:01」

「見出し:セイウ, ショウミ-1」です。

プリント可能ランプが点灯します。

*工場出荷状態では、巻末の登録印字データの「01」が選択されています。

[設定キー] ↓

8-2 イメージ選択メニュー画面

*1. イメージセンタク
[セッテイ] ツキノメニュー
[カクテイ] ケッテイ
[トリケン] ショキガメン

[確定キー] ↓

8-3 イメージNo入力画面

イメージヲセンタクシテクダサイ
<01>セイツウ, ショウミ-1
[カクテイ] センタク
[セッテイ] ツキノイメージ

[設定キー] ↓

8-4 イメージNo入力画面

イメージヲセンタクシテクダサイ
<02>セイツウ, ショウヒ-1
[カクテイ] センタク
[セッテイ] ツキノイメージ

[確定キー] ↓

8-5 可変データ入力確認画面

?カヘンデータニユリヨク
<02>セイツウ, ショウヒ-1
[カクテイ] ニユリヨクナシ
[セッテイ] カヘンセッテイ

[確定キー] ↓

8-6 テスト印字画面

?テストインジシマスカ
[02]セイツウ, ショウヒ-1
[カクテイ] インジシナイ
[セッテイ] テストインジ

[確定キー] ↓

8-7 初期画面表示

THP- 4012 12:34:56
[02]セイツウ, ショウヒ-1
[フットスイッチ] インジ
[セッテイ] ショリメニュー

8-2 操作パネルの[設定キー]を押します。

操作パネル表示部が、「印字文字選択メニュー」画面に切り替わります。

*各メニュー画面は、数字キーでも選択できます。

8-3 操作パネルの[確定キー]を押します。

表示パネルが、「印字No入力画面」に切り替わります。

8-4 印字Noを[数字キー]で「0」「2」と入力します。

表示される登録印字Noが「02」に変わります。

[確定キー]を押して、印字No「02」を確定します。

*[設定キー]を押すと次の印字Noが表示されます。

8-5 可変データ入力確認画面

[確定キー]を押して、設定変更をスキップします。

*選択した登録印字Noに、変更可能文字列がある場合(この場合は、有効期限が設定されています。)操作パネル上で値や設定を変更することができます。

詳細は12ページ「可変データの変更」をご覧ください。

8-6 テスト印字画面

[確定キー]を押して、テスト印字をスキップします。

*包材をセットして、[設定キー]を押すと、テスト印字が開始されます。

*印字後、初期画面に戻ります。

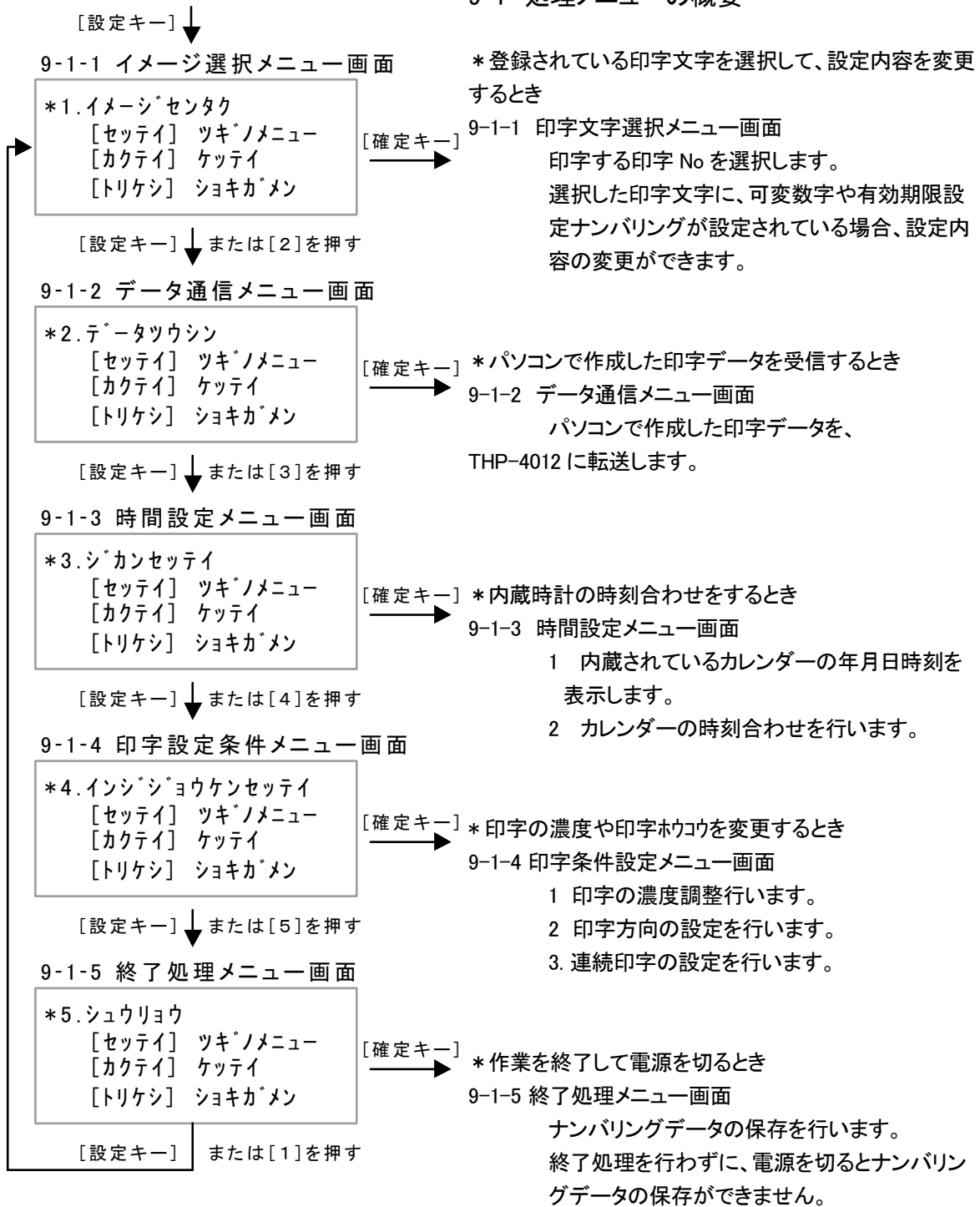
8-7 初期画面

印字Noが登録印字データの「02」に変更されました。

包材をセットして、フットスイッチを押すと印字が開始されます。

9 処理メニュー設定方法

9-1 処理メニューの概要



9-2 印字する文字を変更する(印字文字選択メニュー)

9-2-1 印字 No を変更する

9-2-1 イメージ選択メニュー画面

*1.イメージセンタク
 [セッテイ] ツキノメニュー
 [カクテイ] ケッテイ
 [トリケシ] ショキガメン

[確定キー] ↓

9-2-2 イメージ No 入力画面

イメージヲセンタクシテクダサイ
 <01>セイゾウ, ショウミ-1
 [カクテイ] センタク
 [セッテイ] ツキノイメージ

[設定キー] ↓ または [02] を押す

9-2-2 イメージ No 入力画面

イメージヲセンタクシテクダサイ
 <02>セイゾウ, ショウヒ-1
 [カクテイ] センタク
 [セッテイ] ツキノイメージ

[確定キー] ↓ 可変データが無い場合

9-2-3 テスト印字画面

?テストインジシマスカ
 [02]セイゾウ, ショウヒ-1
 [カクテイ] インジシナイ
 [セッテイ] テストインジ

[設定キー] ↓

テスト印字

[確定キー] 初期画面へ

初期画面表示

THP- 4012 12:34:56
 [01]セイゾウ, ショウミ-1
 [フットスイッチ] インジ
 [セッテイ] ショリメニュー

[確定キー] 可変データがある場合

9-2-4 可変データ入力確認画面

?カヘンデータニューリョク
 [02]セイゾウ, ショウヒ-1
 [カクテイ] ニューリョクナシ
 [セッテイ] カヘンセッテイ

[確定キー] テスト印字画面へ

[設定キー] ↓ 可変データ変更画面へ

現在選択している印字 No 以外の印字文字を印字する場合は、このメニューから、印字したい印字 No を選択します。

9-2-1 印字文字選択メニュー画面

初期画面で [設定キー] を 1 回押すと、イメージ選択メニュー画面を表示します。

9-2-2 印字 No 入力画面

この画面で、

[確定キー] 表示した印字 No を確定します。

[設定キー] を押すと次の印字 No を表示

[数字キー] 印字 No がわかっている場合は

印字 No を直接選択できます。

* 選択した印字 No を確定すると

1) 選択した印字文字に、可変データが含まれていない場合。

テスト印字画面に移行します。

2) 選択した印字文字に、可変データが含まれている場合。

可変データ入力確認画面に移行します。

9-2-3 テスト印字確認画面

設定した内容を印字して確認することができます。

[確定キー] テスト印字を実行しません。

設定内容を確定して初期画面に戻ります。

[設定キー] テスト印字を実行します。

印字後初期画面に戻ります。

9-2-4 可変データ入力確認画面

選択した印字データの中に、可変データがある場合、変更するか否かの確認画面が表示されます。

[確定キー] 変更しません。

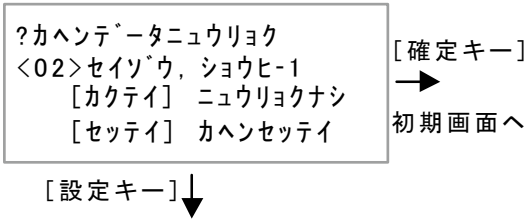
テスト印字画面に移行します。

[設定キー] 変更します。

可変データ入力画面に移行します。

可変データを変更する

9-2-4 可変データ入力確認画面



可変データ入力確認画面で、「設定キー」を押すと、可変データを変更することができます。

変更可能なデータは、以下の3種類です。

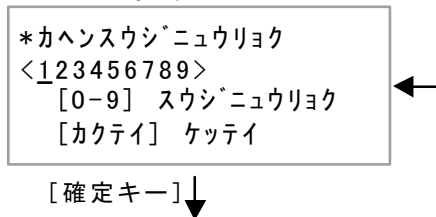
1. 可変数字(価格、数量など)
2. 有効期限(現在の日付から、設定した期間を追加した日付を印字する機能)
 - 1) 単位(年、月、日、時間)
 - 2) 有効期間(1～99)
3. ナンバリング

(印字する毎に +1 ずつ加算した番号を印字する機能)

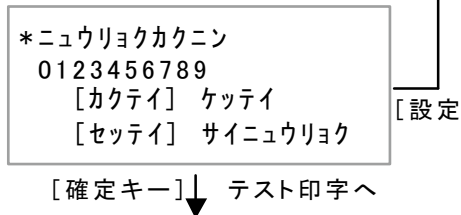
 - 1) 初期値
 - 2) 同一番号の印字回数
 - 3) 現在の印字回数

9-2-2 可変数字を変更する

A)-1. 可変数字入力



A)-2. 入力データ確認



変更するデータが可変数字の場合

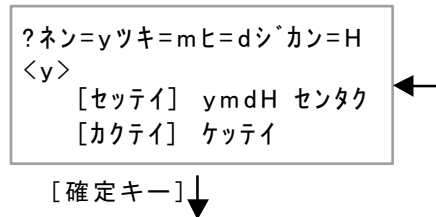
- 1) 可変数字入力画面

[数字キー] カーソルの位置にある数字を入力した値に変更します。
* 入力桁数の変更はできません。
[設定キー] スペース(空白)が入力されます。
[確定キー] 変更内容を確定します。
- 2) 入力データ確認画面

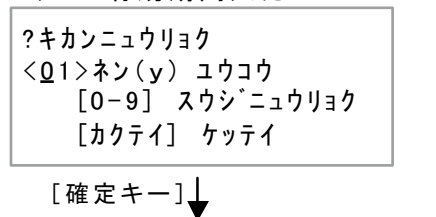
[確定キー] 設定内容を確定して、テスト印字画面に移ります。
[設定キー] 再度設定を行います。

9-2-3 有効期限の設定を変更する

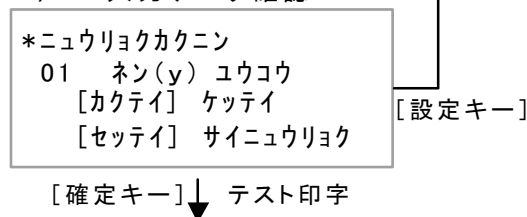
B)-1. 有効期限設定単位入力



B)-2. 有効期間入力



B)-3. 入力データ確認



B). 変更するデータが有効期限の場合

- 1) 有効期限の設定単位入力画面

有効期限の設定を年、月、日、時間の何で行うかを設定します。
[設定キー] < > で囲まれた値が、押すごとに $y \rightarrow m \rightarrow d \rightarrow H$ と変化します。
[確定キー] 変更内容を確定します。
- 2) 有効期間入力

[数字キー] 期間を数字で入力します。
[確定キー] 変更内容を確定します。
- 3) 入力データ確認画面

[確定キー] 設定内容を確定してテスト印字画面に移ります。
[設定キー] 再度設定を行います。

9-2-4 ナンバリングの設定を変更する

9-2-4 可変データ入力確認画面

?カヘンテ`ータニュウリョク
 <02>セイゾウ, ショウヒ-1
 [カクテイ] ニュウリョクナシ
 [セツテイ] カヘンセツテイ

[設定キー] ↓

C)-1. カウンター設定画面

*カウンターセツテイ [確定キー]
 [セツテイ] ケンザイマイスウ
 [カクテイ] カイシ
 [トリケシ] キャンセル

[設定キー] ↓ ↑

C)-2. 現在枚数修正画面

*ケンザイマイスウ シュウセイ
 [セツテイ] カウンターセツテイ
 [カクテイ] カイシ
 [トリケシ] キャンセル

C)-1-1). カウント値入力画面

カウント子<0001>
 [0-9] スウジ`ニュウリョク
 [カクテイ] ケツテイ

[確定キー] ↓

C)-1-2). 印字回数入力画面

カウント子 0001
 カイスウ 00 / <02>
 [0-9] スウジ`ニュウリョク
 [カクテイ] ケツテイ

[確定キー] ↓

C)-1-3). カウント値と印字回数入力確認画面

カウント子 0001
 カイスウ 00 / 02
 [カクテイ] ケツテイ [設定キー]
 [セツテイ] サイニュウリョク

[確定キー] ↓ テスト印字

変更するデータがナンバリングの場合

カウンター設定画面から、「カウント値」と「同一番号のデータの印字枚数」を変更できます。

現在枚数修正画面から、同一番号の発行済枚数の変更ができます。

*カウント値を変更すると、発行済みの同一番号の印字済み枚数は、ゼロにリセットされます。

*印字したが、印字がよくなかった、印字位置を変えたい等、もう一度同じ番号のデータを印字したい場合現在枚数を修正することにより、前回と同じデータを再度、印字できます。

* カウンター設定画面⇄現在枚数変更画面の切替は、[設定キー] でおこないます。

C)-1 カウント値と同一番号の印字回数変更

1) カウント値入力画面

カウンター設定画面で、[確定キー]を押すとカウント値入力画面になります。

[数字キー]: カウント値を入力します。

* 入力する数字の桁数は、変更できません。

[確定キー]: 入力した値を確定し、印字回数を変更します。

印字回数入力画面に移行します。

2) 印字回数入力画面

[数字キー]: 同一番号の印字枚数を入力します。

* 入力する数字の桁数は、変更できません。

[確定キー]: 入力した値を確定し、同一番号の印字回数を変更します。

3) カウント値、印字回数確認画面

入力した値が正しいかどうかを確認します。

[確定キー]: 入力した値を確定します。

テスト印字確認画面に移行します。

[設定キー]: 再度、カウンター値と印字枚数の設定をおこないます。

C)-2-1). 現在値入力画面

カウントチ 0001
 ケンサイチ<00>/02
 [0-9] スウジ・ニュウリョク
 [カクテイ] ケツテイ

[確定キー] ↓

C)-2-2). 現在値確認画面

カウントチ<0001>
 ケンサイチ 01 /02
 [カクテイ] ケツテイ
 [セツテイ] サイニュウリョク

[確定キー] ↓ テスト印字

[設定キー]

C) - 2. 現在枚数修正

1). 現在値入力画面

[数字キー]: 現在枚数を入力します。

* 現在枚数とは、同一番号の印字済み枚数です。

[確定キー]: 入力した値を確定します。
 現在枚数確認画面に移ります。

1). 現在枚数確認画面

入力値が間違いないかを確認します。

OK なら

[確定キー]: 内容を確定します。
 テスト印字画面に、移ります。

[設定キー]: 再度設定をやり直します。
 現在枚数入力画面に移行します。

9-3 データ通信メニュー

9-3 データ通信メニュー画面

*2.データツウシン
 [セッテイ] ツキノメニュー
 [カクテイ] ケッテイ
 [トリケシ] ショキカメン

[取消キー] → 初期画面へ

[確定キー] ↓

9-3-1-1 データ受信画面

*2-1.データジュシン
 [セッテイ] ツキノメニュー
 [カクテイ] ケッテイ

[確定キー]

[設定キー] ↓ ↑

9-3-2-1 RAMファイル初期化

*2-2.RAMファイルショキカ
 [セッテイ] ツキノメニュー
 [カクテイ] ケッテイ

初期画面から、[設定キー]を2回押すと
 データ通信初期画面が表示されます。

この画面で、[確定キー]を押すと、データ受信画面に移行します。

データ通信メニューでは、
 データ受信画面で
 「パソコンで作成した印字データを受信」

RAMファイル初期化画面で
 「内部メモリーの内容をすべて削除」
 ことができます。

*データ受信画面と、RAMファイル初期化画面は、
 [設定キー]で切り替えることができ

9-3-1 印字データを受信する

9-3-1-2 データ受信メニュー画面

*データジュシン
 [カクテイ] シュシンカイン
 [トリケシ] キャンセル

[確定キー] ↓

9-3-1-3 データ受信待ち画面

ソウシンシテクタサイ

パソコン側 ↓ で送信開始

9-3-1-4 データ受信中画面

データジュシンチュウ

受信終了で ↓ 初期画面へ

印字データ受信手順

1. THP-4012の電源を入れた状態で、パソコンとTHP-4012を付属のUSBコードで接続します。
2. パソコン上でデータ転送ソフトを起動させます。
 *このときソフトが、THPを認識していれば、[待機中]が表示されます。
 *転送ソフトのインストールおよび使用方法は転送ソフト取扱説明書をご覧ください。
3. データ受信画面から[確定キー]を押して、データ受信メニュー画面を表示させます。
4. データ受信メニュー画面で、[確定キー]を押すと、データ受信待ち画面に移行します。
5. パソコン側のデータ転送ソフトで、ファイル転送ボタンをクリックすると、転送する印字データファイル選択画面が表示されるので、転送するファイルを選択します。
6. ファイル転送が開始されると、データ受信中画面が表示され、終了するとブザーが鳴り初期画面に戻ります。

9-3-2 RAM ファイルを初期化する

A) RAMファイル 初期化画面

*2-2.RAMファイルシヨキカ
[セツテイ] ツキノメニュー
[カクテイ] ケツテイ

[確定キー] ↓

B) RAMファイル 初期化実行画面

イメージヲスベテサクシヨシマス！！
[カクテイ] サクシヨシツコウ
[トリケシ] キャンセル

[確定キー] ↓

C) 初期化実行中画面

RAMファイルシヨキカチュウ



初期化終了で初期画面へ

THP-4012内部メモリーに登録されてある印字データを全て削除します。

A) RAMファイル初期化画面で、
[確定キー]を押します。

B) RAMファイル初期化実行画面が表示されますので、
[確定キー]を押すと、初期化実行中画面を表示して、初期化作業が開始されます。

C) 初期化が終了すると、ブザー音が鳴って、初期画面に戻ります。

*内部メモリーの内容をすべて削除します。
内部メモリーから、パソコン上のデータファイルを作成することはできません。
必ず、元のデータが保存されていることを確認して削除をおこなってください。

9-4 内蔵時計の時刻合わせ(時間設定メニュー)

9-4 時間設定メニュー画面

*3シ`カンセツテイ
 [セツテイ] ツキ`ノメニュー
 [カクテイ] ケツテイ
 [トリケシ] ショキガメ

[確定キー] ↓

9-4-1 カレンダー表示画面

*3-1.カレンダー`ヒョウシ`
 [セツテイ] ツキ`ノメニュー
 [カクテイ] ケツテイ

[設定キー] ↓ ↑

9-4-2 カレンダー設定画面

*3-2.カレンダー`セツテイ
 [セツテイ] ツキ`ノメニュー
 [カクテイ] ケツテイ

9-4-1-A) カレンダー表示

*カレンダー`ヒョウシ` *
 2009/05/20 wed
 09:52:55

9-4-2-B) カレンダー設定画面

*3-1.カレンダー`セツテイ
 [セツテイ] ツキ`ノメニュー
 [カクテイ] ケツテイ

[確定キー] ↓

9-4-2-1 年入力

Y2009
 year YYYY
 スウシ`ニュウリョク [カクテイ]

[確定キー] ↓

9-4. 時間設定メニュー

初期画面から、[設定キー]を3回押すと時間設定メニュー画面が表示されます。この画面で、[確定キー]を押すと、カレンダー表示画面に移行します。

9-4-1 カレンダー表示画面

THPに内蔵されているカレンダーの内容を、表示します。

9-4-2 カレンダー設定画面

THPに内蔵されているカレンダーの値を修正します。

* 表示画面と設定画面は、[設定キー]で切り替えることができます。

A) カレンダー表示

カレンダー表示画面で、[確定キー]を押すと、現在の日付、曜日、時間を2秒間表示します。表示後は、初期画面に移行します。

B) カレンダー設定

カレンダー設定画面で、[確定キー]を押すと、THP-4012に内蔵されているカレンダー時計用ICのカレンダーと時間を修正する画面を表示します。

9-4-2-1 年を西暦4桁の数字で入力します。

修正後、[確定キー]を押すと、月の変更画面に、移行します。

* 和暦表示には、対応していません。

9-4-2-2 月入力

Y2009M05
month MM
スウジ[®]ニューヨーク [カクテイ]

[確定キー] ↓

9-4-2-3 日入力

Y2009M05D22
date DD
スウジ[®]ニューヨーク [カクテイ]

[確定キー] ↓

9-4-2-4 時入力

Y2009M05D22Fri
H09
hour24 HH
スウジ[®]ニューヨーク [カクテイ]

[確定キー] ↓

9-4-2-5 分入力

Y2009M05D22Fri
H09M15
min MM
スウジ[®]ニューヨーク [カクテイ]

[確定キー] ↓

9-4-2-6 秒入力

Y2009M05D22Fri
H09M15S19
sec SS
スウジ[®]ニューヨーク [カクテイ]

[確定キー] ↓

9-4-2-7 カレンダー変更確認画面

09/05/22/Fri09:05:19
[カクテイ] ケッテイ
[セッテイ] サイニューヨーク
[トリケシ] キャンセル

[設定キー] → 「年」入力画面へ移行

[確定キー] ↓ [取消キー]

セッテイキャンセル

初期画面表示 ↓

THP-4012 12:34:56
[01]セイゾウ,ショウミー1
[フットスイッチ] インジ[®]
[セッテイ] ショリメニュー

9-4-2-2 「月」を2桁の数字で入力します。

修正後、[確定キー]を押すと、「日」の変更画面に、移ります。

9-4-2-3 「日」を2桁の数字で入力します。

修正後、[確定キー]を押すと、曜日を自動的に入力して、時の変更画面に、移ります。

9-4-2-4 「時」を2桁の数字で入力します。

修正後、[確定キー]を押すと、「分」の変更画面に、移ります。

9-4-2-5 「分」を2桁の数字で入力します。

修正後、[確定キー]を押すと、「秒」の変更画面に、移ります。

9-4-2-6 「秒」を2桁の数字で入力します。

修正後、[確定キー]を押すと、(4-2-7)カレンダー変更確認画面に移ります。

9-4-2-7 カレンダーの変更した内容を表示します。

[確定キー]: 変更内容を保存して、初期画面に、戻ります。

[設定キー]: 変更内容を破棄して、再度「年」入力画面に戻ります。

[取消キー]: 変更内容を破棄して、初期画面に、戻ります。

9-5 印字条件を変更する(印字条件設定メニュー)

9-5 印字条件設定メニュー画面

*4 インジ`シ`ョウケンセッテイ
 [セッテイ] ツギ`ノメニュー
 [カクテイ] ケッテイ
 [トリケシ] ショキガ`メ

[確定キー] ↓

9-5-1 印字濃度設定画面

*4-1. インジ`ノウト`セッテイ
 [セッテイ] ツギ`ノメニュー
 [カクテイ] ケッテイ

[設定キー] ↓

9-5-2 印字方向設定画面

*4-2. インジ`ホウコウセッテイ
 [セッテイ] ツギ`ノメニュー
 [カクテイ] ケッテイ

[設定キー] ↓

9-5-3 連続印字設定画面

*4-3. レンゾ`クインジ`
 [セッテイ] ツギ`ノメニュー
 [カクテイ] ケッテイ

[設定キー]

初期画面から、[設定キー]を4回押すと
 印字条件設定メニュー画面が表示されます。
 この画面で、[確定キー]を押すと、印字濃度設定
 画面に移行します。

9-5-1 印字濃度調整

印字の濃度調整を行います。
 印字ヘッドの発熱時間を変更して、濃度調整を
 行います。

9-5-2 印字方向設定

印字する方向を切り替えます。

9-5-3 連続印字

連続印字のインターバル設定と印字開始をおこ
 ないます。

* 各設定画面は、[設定キー]で切り替えることが
 できます。

9-5-1 印字濃度を変更する

9-5-1 印字濃度設定画面

*4-1 インジ`ノウト`セッテイ
 [セッテイ] ツギ`ノメニュー
 [カクテイ] ケッテイ

[確定キー] ↓

テスト印字

9-5-1-1 印字濃度入力画面

*インジ`ノウト`セッテイ
 <Q1> ウスイ 01-10 コイ
 [0-9] スウジ`ニュウリョク
 [カクテイ] ケッテイ

[確定キー] ↓で初期画面へ

[フットスイッチ]

印字濃度設定画面で、[確定キー]を押します。
 印字濃度は、[数字キー]で入力します。
 入力範囲は「01」～「10」で、数値が高いほど濃度は、
 濃くなります。

* 設定値を上げすぎると、プリントテープが破れたり
 包材がリボンに付着し、印字不良の原因になります。
 きれいに印字される、最小の値に設定してください。

数値を入力して「フットスイッチ」を押すと、入力した
 印字濃度でテスト印字をおこなう事が出来ます。
 *テスト印字では、ナンバリングや印字枚数の更新は
 行いません。

数値を入力して「確定キー」を押すと、入力した数値
 が保存され初期画面に戻ります。

9-5-2 印字方向を変更する

9-5-2. 印字方向設定画面

*4-2 インジ^{ホウ}コウセツテイ
 [セツテイ] ツキ^ノメニュー
 [カクテイ] ケツテイ

[確定キー] ↓

9-5-2-1. 印字方向変更画面

*インジ^{ホウ}コウセツテイ
 インジ^{ホウ}コウ:シタムキ
 [セツテイ] キリカエ
 [カクテイ] ケツテイ

[確定キー] ↓

変更を保存して初期画面へ

印字濃度設定画面で、[設定キー]を押します。
 印字方向設定画面に移行しますので、[確定キー]を押すと、印字方向を変更する画面に移ります。

[設定キー]を1回押すごとに、印字方向が切り替ります。

製造年月日	2009/06/01	「インジ ^{ホウ} コウウエムキ」
賞味期限	2009/07/01	印字方向上向
	↓ ↑	
10/L0/000Z	副産物算	「インジ ^{ホウ} コウシタムキ」
101	日付変更簿	印字方向下向

印字方向を設定して、[確定キー]を押すと、設定された印字方向を保存して、初期画面に移ります。

9-5-3 連続印字条件を設定し印字を開始する

9-5-3. 連続印字設定画面

*4-3. レンゾ^クインシ^ン
 [セツテイ] ツキ^ノメニュー
 [カクテイ] ケツテイ

[確定キー] ↓

9-5-3-1. 印字間隔変更画面

*レンゾ^クインシ^ン
 インシ^ンカンカク: <3.0s>
 [フットスイッチ] インシ^ンカイシ
 [トリケシ] メニューガメン

[フットスイッチ] ↓

9-5-3-2. 連続印字画面

*レンゾ^クインシ^ンチュウ
 インシ^ンカンカク: 3.0s
 [フットスイッチ] インシ^ンテイシ

[フットスイッチ] ↓

印字方向設定画面で、[設定キー]を押します。
 連続印字設定画面に移行しますので、[確定キー]を押すと、印字間隔を入力する画面に移ります。

印字間隔を「数字キー」で入力します。設定可能範囲は、0.0秒～9.9秒です。

印字間隔を入力して、包材をセットした後、フットスイッチを押すと、連続印字が開始されます。

印字を中止したいときは、印字動作中以外のタイミングで、フットスイッチを押すと、印字間隔入力画面にもどります。

9-6 作業を終了して電源を切る前に(終了処理メニュー)

終了処理メニュー画面で[確定キー]を押すと、終了処理をおこないます。

9-6. 終了処理メニュー画面

```
*5シュウリョウシヨリ
  [セツテイ] ツキノメニュー
  [カクテイ] ケツテイ
  [トリケシ] ショキガメ
```

[確定キー] ↓

9-6-1. 終了処理画面

```
*シュウリョウシヨリ*
  [カクテイ] シュウリョウ
  [トリケシ] キャンセル
```

[確定キー] ↓

9-6-2. 終了処理中の画面

```
*シュウリョウシヨリチュウ*
```

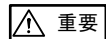
↓

9-6-3. 終了画面

```
**シュウリョウシヨリシマシタ**
テンゲンスイッチヲキツテクタサイ
```

↓

電源スイッチを切る



重要

作業を終了して電源を切る前には、必ず終了処理をおこなってください。

終了処理をおこなわずに電源を切ると、ナンバリングデータの保存ができない為に、次回電源を入れて作業を再開したとき、ナンバリングの値が前回終了時の続きを印字できなくなります。

9-6-1 終了処理画面

[確定キー]を押すと、終了処理が開始されます。

9-6-2 終了処理中の画面

終了処理中は、印字データ内にあるナンバリングデータを保存します。

9-6-3 終了画面

保存が終了すると、ブザーが鳴り、以後どの操作も受け付けません。

* 作業を再開するには、一旦電源を切って、再度電源を入れる必要があります。